

※競技時間は、競技状況により早まったり、遅れたりする事があります。余裕を持ってお越しください。

【競技進行上の注意】

競技方法について

- (1) 競技は、(一社)日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。(別紙参照)
- (2) 年齢は暦年齢(2018年12月31日現在の満年齢)とします。
- (3) 競技はすべて男女別、年齢区別のタイムレース決勝とします。
- (4) 競技はエントリーに従い、男女別・年齢区別に組み分けを行い高年齢から低年齢へ、遅い組から速い組への順で行います。
- (5) エントリータイムは申し込み時に申告されていますが、競技進行を速やかに行う上で、明らかに申告タイムが違う場合は、訂正用紙でインフォメーションデスクへ提出してください。
- (6) チーム受付は、東京・埼玉・他の県別に受付場所でチーム名を申告し参加賞・公認記録証をまとめてお渡します。
- (7) リレーについて
 - ①リレーオーダーの変更は、所定の用紙に必要事項(プログラムNo・組・レーンも記入)を全て記入の上、前頁にある締切時間までに、インフォメーションデスクへ提出してください。変更のない場合は提出の必要はありません。
 - ②リレーオーダーの変更は一度のみとなり、年齢区分の変更はできません。
 - ③同一リレー種目には、年齢区分に関わらず1人1回しか出場できません。
 - ④リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。
 - ⑤リレーの第2泳者以降で水中からスタートを希望される方は必ず審判長への許可(招集所で申し出)が必要です。許可なく水中からスタートした場合、失格となる場合がありますので、予めご承知置きください。尚、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。
- (8) 招集
 - ① 個人種目は、25m種目は自分の出場する10組前、50m種目は5組前、リレー種目は2組前から行います。選手は、競技進行のわかる場所で、競技状況を確認の上、招集に遅れないようご注意ください。名前を呼んでも招集所に居ない場合は棄権扱いとなります。
- (9) スタートについて
 - ①スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
 - ② 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のコースを確認してください。組・レーンを間違えると失格となります。
 - ③ 公式スタート練習を行う時間は、前頁で確認してください。公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
 - ④ マスターズのスタートは、①スタート台上、②スタート台横、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、スタート台横や水中からのスタートをお勧めいたします。
 - ⑤ クラウチングスタートをされる方は、後方の足が滑りやすいので十分注意してください。
 - ⑥ 25m種目はターンサイドからスタートします。
 - ⑦ 招集所からの移動の際、招集員の指示に従ってください。

- ⑧オーバーザトップ方式を採用します。
- ⑨スタートの号令は「TAKE YOUR MARK(S)」で行います。

(10) プールの上がり方

- ① 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、横からプールサイドへ退水してください。(自分のレーンからも可能)
また、競技役員の指示があった場合は指示に従い、他の選手の妨げにならないように注意してプールから上がってください。25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。
- ③ 25m以外の種目は、ゴールタッチした選手はレーンロープにつかまり次の組がスタートした後にプールから上がってください。
- ④ 4×25mリレー種目の第1・2・3泳者で速やかにプールサイドに上がれない場合は、その組の競技終了までレーン内でお待ちください。その際、レーンロープにつかまってお待ちください。

(11) 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は事前に「出場申告用紙」にてインフォメーションデスクへ申告が必要です。

- ① 世界記録に挑戦する方
※世界記録に挑戦する方は、下記【(12)世界記録申請及び日本記録・世界記録該当者の水着着用について】を確認してください。「出場申告用紙」は不要です。
- ② テープ等をされる方
※本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける可能性のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。なお、指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。
- ③ 障がいをお持ちで競技規則違反になる可能性がある方
※エントリー時に申告している方は再度申告の必要はありません。
- ④ 出場に介助が必要な方
※チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません(一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は役員の指示を優先して介助してください。
- ⑤ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
※【(7)リレーについて⑤】を確認してください。

(12) 世界記録申請及び日本記録・世界記録該当者の水着着用について

公認プールで、世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入の上、インフォメーションデスクへ申告してください。国際水泳連盟(FINA)が認定している世界記録を突破した場合、その記録をFINAへ世界記録としての公認を申請します。申請の際、計時員3名の計測が必要なため、インフォメーションデスクへの申告をもとに計時員3名を配置します。必ず申告を忘れないようにしてください。また、世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー(3ヶ月以内のもの)」が必要となりますのでご準備ください。

世界記録のFINAへの申請にはFINA承認水着の着用確認が必要です。世界記録を出す可能性がある選手はFINA承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影させていただきます。また、世界記録申請用紙に、水着のメーカー及び承認番号を記載してください。日本記録に関しては、レース前及びレース終了後FINA承認水着の確認をします。FINA承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認め

られませんので予めご承知おきください。

※2016年4月より、リレー種目(4×25m種目を除く)の第一泳者の新記録の申請が可能になりました。世界記録に挑戦する選手は、必ず申告してください。

(13) 異議申し立て

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。

競技の失格内容や状況等に意義のある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記載し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定いたします。なお、抗議書の申請は、チームの責任者に限られます。(一般選手からの抗議の申請は出来ません。)抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料を返金いたしません。その他、違反内容の問い合わせについては、規定用紙に記入の上、インフォメーションデスクにお申し出ください。

(14) 表彰について

- ① 出場選手全員に参加章及び(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を発行いたします。
- ② 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の各上位6位・リレー種目3位まで賞状を授与いたします。ランキング発表後、入賞者は賞状を受渡所にて各自受け取ってください。
- ③ マスターズ日本記録を突破した選手に日本新記録樹立証を授与します。
(ア) マスターズ世界記録を突破した選手に世界記録突破証を授与します。
(イ) リレー種目男女総合得点で上位6位までのチームにカップを授与します。優勝チームには、コバトンカップを授与します。(持ち回り) 【得点：1位7点・2位5点・3位4点…6位1点】

(15) ウォーミングアップについて

- ① 時間は1頁をご覧ください。
- ② メインプールの水深は、スタート側1.2m、中央1.3m、ターン側1.2mとなっております。右側通行を厳守し、お互い気をつけて行ってください。サブプールは、15m×6m、水深90cm、中央1.1mとなっております。コースロープがございませんので、一方向で泳いでください。飛び込みは禁止です。
- ③ 2レーン・3レーンは女性専用レーンといたします。
- ④ 1レーンは、ウォーミングアップ開始時より、スタートダッシュレーンといたします。1レーンはスタート側からのみのスタートとなります。一方通行で25m泳ぎ切ってください。
- ⑤ 8:45より指定のレーン、公式スタート練習とします。※開会閉会式中のサブプールは利用できません。
※昼休み中のアップの際は飛び込み練習は出来ませんので予めご了承ください。

(16) 健康管理

- ① 参加者の健康管理は本人の責任とし、各自で十分留意してください。
- ② 参加チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - a、医師の診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - b、競技会当日より前1ヵ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - c、会場における事故等については、すべて参加者側の責任において処置してください。(応急処置はいたします。)
 - d、「マスターズ水泳キーワード9」をよくご理解の上ご参加ください。
- ③ 大会期間中、運営側・医師・看護師より出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

【貴重品の管理について】

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え場所・観覧席・プールサイドに荷物を入れた袋を放置し

たままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようお願いいたします。

【チームリーダーミーティングについて】

8：15から2階研修室で行います。競技上の注意事項などに変更がある場合は、この折に連絡いたします。チームの代表者1名が参加してください。

【選手控え場所】

- ① 控場所は、1階体育館・2階卓球室・3階観覧席とします。競技観戦や応援は、3階観覧席でお願いします。その他の場所は通行の妨げになりますので、場所取りはご遠慮ください。館内および控え場所はすべて禁煙です。
- ② 競技役員が巡回していますので、指示があった場合は従ってください。

※ 暖房設備不具合がございますので身体の保温できる服装・カイロなどご用意ください。大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが宜しくお願い致します。

【カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影許可について】

撮影許可証なしでカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をすることは出来ません。選手・応援者の方で、カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、インフォメーションデスクにて申請書及び預かり金1,000円を提出の上、撮影の許可証を受け取り、見える場所に着用してください。許可証をなしにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へご連絡ください。

本大会において、参加選手または関係者が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けてください。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となるので注意してください。なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

【施設上の注意】

- ① 館内は土足禁止です。下足入れをお持ちになり各自管理してください。
- ② 館内は、競技役員以外は履物禁止です。プールサイド及び館内は、素足でお願いします。
- ③ 入水前は必ずシャワーを浴びてください。またセームをプールに入れて水に浸さないようにお願いします。
- ④ 参加者の怪我防止の為、缶・瓶類の館内持ち込みを禁止します。
- ⑤ 指定された場所以外への立ち入り、付帯設備・備品などを無断で使用しないでください。
- ⑥ 控え場所は、参加人数の多いチームは指定させていただきます。お互い譲り合ってお使いください。
- ⑦ 控場所の体育館は広い為、室温が低いです。暖かい服装で待機してください。
- ⑧ 各チーム・各自のごみは、必ず持ち帰るようにお願いします。ごみ箱は設置されていません。
- ⑨ 3階は観覧席以外には使用できません。トレーニングジムは一般の方が利用しますので立ち入らないように。
- ⑩ 公共交通機関をご利用下さい。(別紙参照)
- ⑪ **今回の駐車許可は申請があったチームで基本的に3名以上の参加チームが対象となります。駐車許可証を同封してありますので、当日駐車場に入る際係りに見せて指示に従って下さい。入庫時間は7：15からとなります。**

※奥より詰め込みで駐車しますので、閉会式終了まで出られませんので予めご承知おきください。

※東スポーツセンターの周辺は駐車禁止となっておりますので路上駐車や近隣の店舗の駐車場の利用をしないで下さい。

※今回申請して駐車許可証が同封されていないチームの方には申し訳ございませんが公共交通機関をご利用くださいます様宜しくお願い致します。

【その他】

- ① ランキングを申込まれたチームは、後日お申込のチーム責任者へお送りいたします。
- ② リレーオーダー変更用紙はコピーしてご利用ください。(指定時間内に提出する事)
- ③ 大会当日、社会情勢ならびに天変地異のため大会が中止になった場合、「参加賞」「プログラム」(申し込み分)はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。
- ④ 大会当日の緊急連絡先については、事故・怪我の発生などの万が一の際に使用します。選手のご家族に急を要する連絡の取れる電話番号です。これら以外で使用することはありません。
- ⑤ コバトン・カップマスターズ水泳大会のご案内は、(一社)埼玉県水泳連盟ホームページでもご覧いただけます。

HP:<http://www.sai-suiaren.net/>

- ⑥ 競技に関してのお問い合わせは

〒331-0805 埼玉県さいたま市北区益裁町 452 スウィン大宮スイミングスクール内

TEL 048-666-4141 FAX 048-666-5151 Email: f.shiraishi@omiya-swimming.co.jp

※忘れ物につきましても1週間スウィン大宮で保管しておりますので上記に連絡下さい。

コバトンカップ担当 白石迄

※会場の東スポーツセンターには連絡しないようお願いいたします。

【個人情報の取り扱いについて】

大会に参加いただく際に円滑な事務作業を推進するためにチーム情報ならびに個人情報をご提供いただいております。お預かりした情報は適切かつ慎重に管理し、紛失・漏洩がないように努め、今大会の大会運営と大会記録管理に関する業務に利用します。また、大会プログラム作成および発送業務を下記会社に委託しております。そのため、大会記録およびデータを通知しますが、それ以外の目的で利用することはありません。

なお今大会は、ランキングをインターネット(<http://www.tdsystem.co.jp>)にて公開しますので、予めご了承ください。また、不要になったチームおよび個人情報は責任を持って破棄いたします。

委託会社：有限会社東洋電子システム